

“私の活動”の報告

滋賀県獣害対策アドバイザー

一円 憲一

活動の経緯

◇動機 自らのサル被害を受けたことを機に【獣害】の関心を高める

◇H20年度～

◆地域での活動

- ▽地区で『集落環境点検』を実施し、電柵設置を計画
- ▽電柵の維持管理体制の確立（地区の保全会の立上げ）
 - 定期点検の計画・実施（状況及び状態の“見える化”）
 - 効率的な対策の検討の容易化

◇H26年度～R2年度

多賀町役場 産業環境課に所属

◆獣害防止対策業務

- ▽サルのテレメトリー調査（被害・人馴れ度調査。追払い。）
- ▽有害獣の捕獲（捕獲檻の製作・改良）
- ▽資料の作成（個体数調整許可申請書類。対策の啓蒙・啓発）

◇H28年10月～

滋賀県獣害対策アドバイザー（湖東地域担当）

◆獣害防止対策の普及活動

- ▽実行性の高い具体的対策案の提言・講演
- ▽現地アドバイス（共同施工）

地域での活動

◇自作ネット柵でサルの被害防止

→被害の度に改良 “被害・出沒ゼロ”を達成

◇集落環境点検の実施

◇電柵の維持管理

▼定期点検の励行

→事後保全から予防保全への移行

→点検の基準及び結果の記入票の整備

→点検結果の数値化を図り、要改善箇所の明確化

▼柵の改善

→被害箇所の改善とその対策の拡充

▼メンテナンス・フリーへの方向づけ

→出役時間の短縮・効率化

柵の被害の防止 = 作物被害の防止



サルのテレメトリー調査

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
1								MAX	80	12																	
2	30年度				合計					686	105	21	0	14	9	15	9	8				6		2		4	
3	No	群れ	日付	調査員	開始時間	終了時間	丸囲いの数字	確認状況(見た1、電波2)	見た、頭数	内子ザルの頭数	山林	竹林	田・畑・果樹園	人家周辺(庭・屋根)	道路	河川敷	他	他、内容	所在地域名	区・集落名	農作物被害	農作物被害の内容	果実被害	果実被害の内容	木・竹類被害	木・竹類被害内容	
113	100	八重練群	2月22日	一円		10:05	1	1	30	2				1	1		1	雑木林	多賀地域	八重練							
114	101	八重練群	2月25日	一円		13:55	1	1	30				1						多賀地域	久徳団地	1	麦の芽					
115	102	八重練群	2月26日	一円・富田	15:35	15:50	1	1	60	8	1		1	1	1				多賀地域	久徳	1	麦の芽					
116	103	八重練群	2月27日	一円		13:55	1	1	30	3			1						多賀地域	久徳	1	麦の芽					
117	104	八重練群	3月4日	富田	15:05	15:21	1	1	28	2	1			1	1				多賀地域	八重練							
118	105	八重練群	3月6日	一円・富田	13:30	13:36	1	1	40	6			1	1	1				多賀地域	大岡	1	大根		1	フブ		
119	106	八重練群	3月7日		13:40	13:46	1	1		Y		Z		AA		AB		AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL
120	107	八重練群	3月8日	富田	14:57	15:04	1	1																			
121	108	八重練群	3月12日	一円	10:00	10:06	1	1		4				21			13			0		5	50	47	1	1	
122	109	八重練群	3月13日	富田	13:51	14:20	1	1																			
123	110	八重練群	3月18日	富田	9:15	9:30	1	1			木・竹類被害	木・竹類被害の内容	放棄作物被害	放棄作物被害の内容			生活被害	生活被害の内容	その他被害	その他被害の内容	近づいても逃げない	近づくことと逃げない	追い払うと逃げない	威嚇してくる	その他	その他の内容	
124	111	八重練群	3月18日	富田	15:40	15:55	2	1																			
125	111	八重練群	3月19日	富田	14:10	14:25	1	1																			
126	112	八重練群	3月20日	富田	9:25	9:35	1	2																			
127	112	八重練群	3月20日	富田	13:45	14:10	2	1																			
128	113	八重練群	3月25日	富田	13:30	13:40	1	1														1					

◆被害状況・人馴れ度の数値化

→結果のグラフ化

◆情報の収集（住民への聞き込み）

→テレメトリー調査の補完

→ コミュニケーション・信頼性の確保

◆電子化管理

→群れごとに管理

→分析の容易化

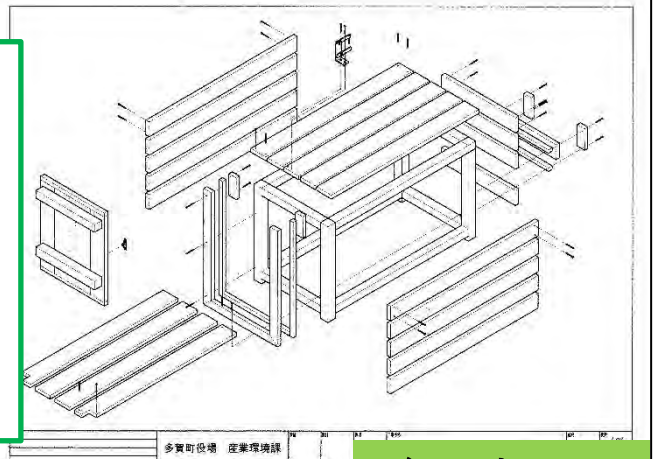
					1				
					1				
					1				
	1	道路に糞			1				
	1	道路に糞			1			1	追払うと少し逃げるが、その場で留まり
ヒコバエ穂	1	道路に糞			1				
					1				
ヒコバエ穂					1				
					1				
					1				
ヒコバエ穂					1				
ヒコバエ穂					1				
					1				
ヒコバエ穂					1				
	1	道路に糞			1				
					1				
					1				

捕獲檻の製作・改良

サル用檻

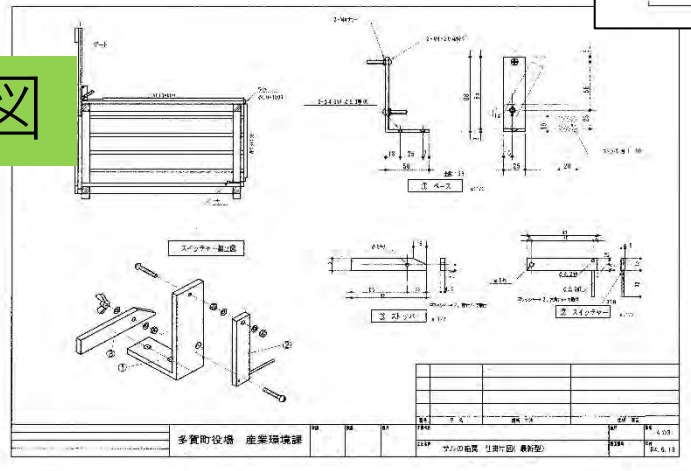
▼住民からの情報をヒントに木製檻の設計及び製作
→設計図、組立図（立体図）

▼既設捕獲檻の改造
→習性を考慮した改造（地獄檻）



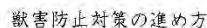
組立図

設計図



ねらい： 軽量化。 木製檻の普及拡大。 捕獲率の向上。

資料の作成



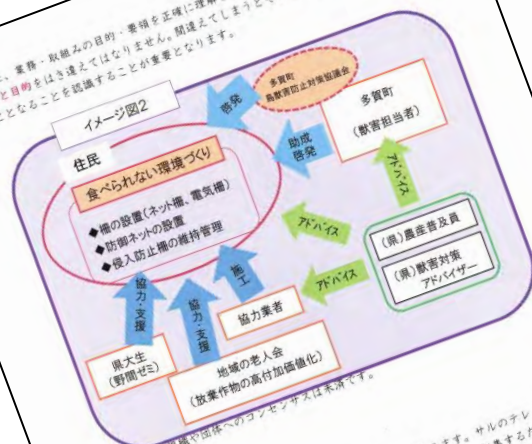
また、業務・取組の目的・業務を正確に理解し実行することが必要で、決して、**手段**を目的をはき違えてはなりません。間違えてしまうと取組みの効果は出ないこととなることを認識することが重要となります。

イメージ図2

多賀町
農林業部 財政課 財政係

電話

多賀町
農林業部 財政課 財政係



3 取組みの見直し

1) テレビ調査

[illegible]

“テレメ調査”業務の基本能力
(業務の素質・適性)

→被害状況(場所・程度)の図示化

→行動域及び群れの状態(1回/月)

→有効な対策。追い払い。柵の補修。

→ 獣害防止対策のすすめ方

→テレメ調査のあり方

→電柵の補修のしかた

技術の伝承や被害防止意識の向上を図るには重要な手段

被害防止対策の共同作業（１）

*裾のめくれ防止
*10 c m未満の隙間



*設計図・施工図の作成
*部材の加工図の作成



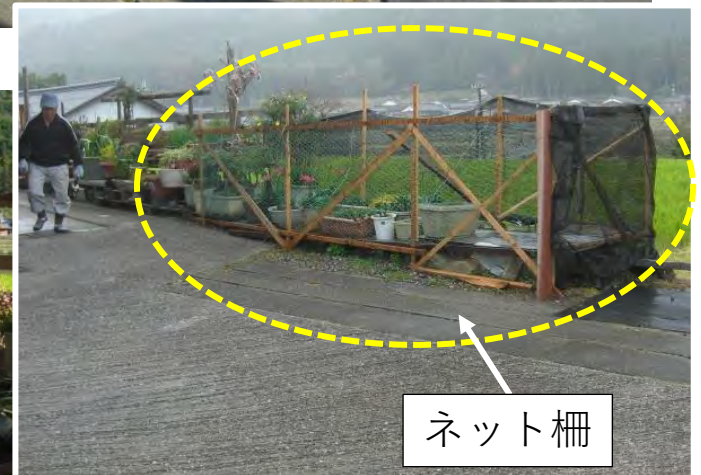
*裾のめくれ防止の徹底
*作物との空間を確保



被害防止対策の共同作業（２）



＊ この老夫婦への対応は共同作業が必要



講演・アドバイス

地域の勉強会や集会に出向いて

- ▽ 獣害防止対策の必要性や具体的かつ実効性の高い方法の説明
- ▽ 電柵の効果的な補修・改善方法の説明



地域の老人会
の集会にて



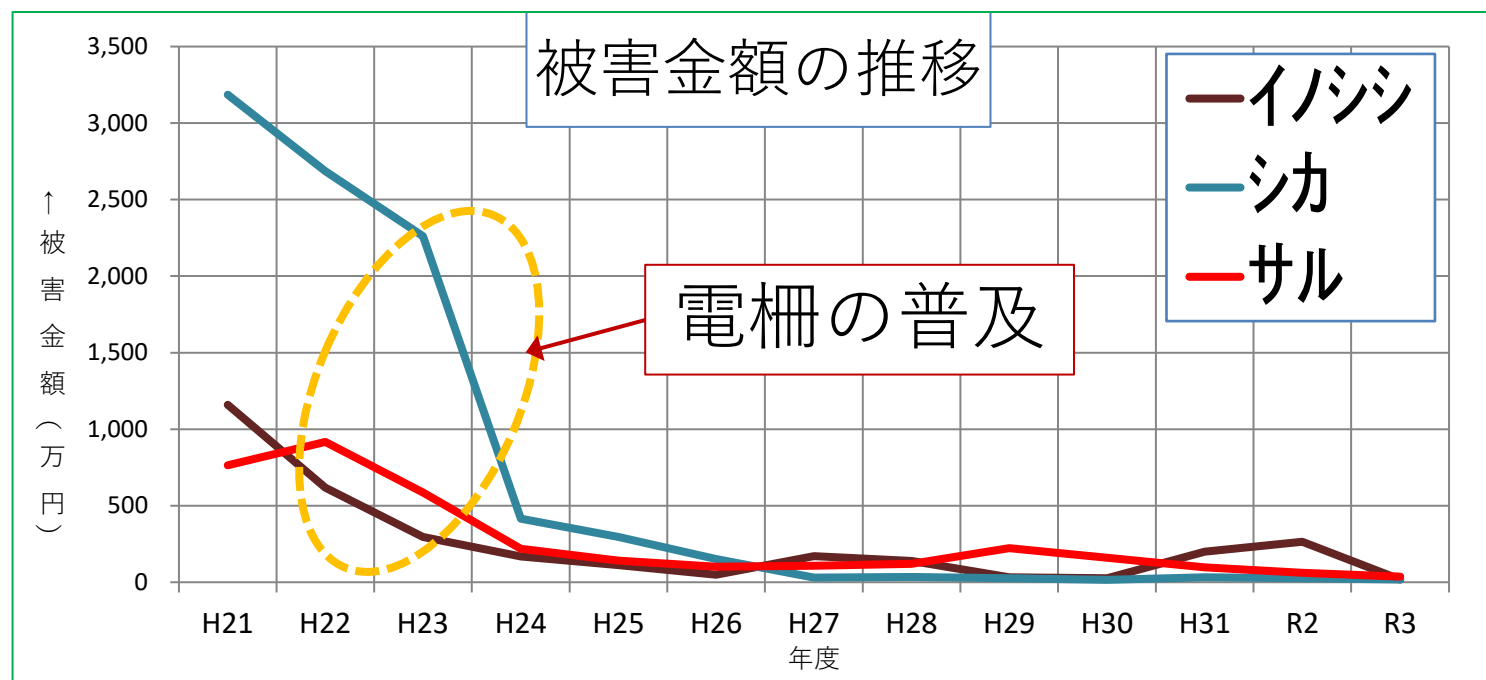
保全会メンバーに



補修方法を現地で

住民は実行性の高い方法を要望

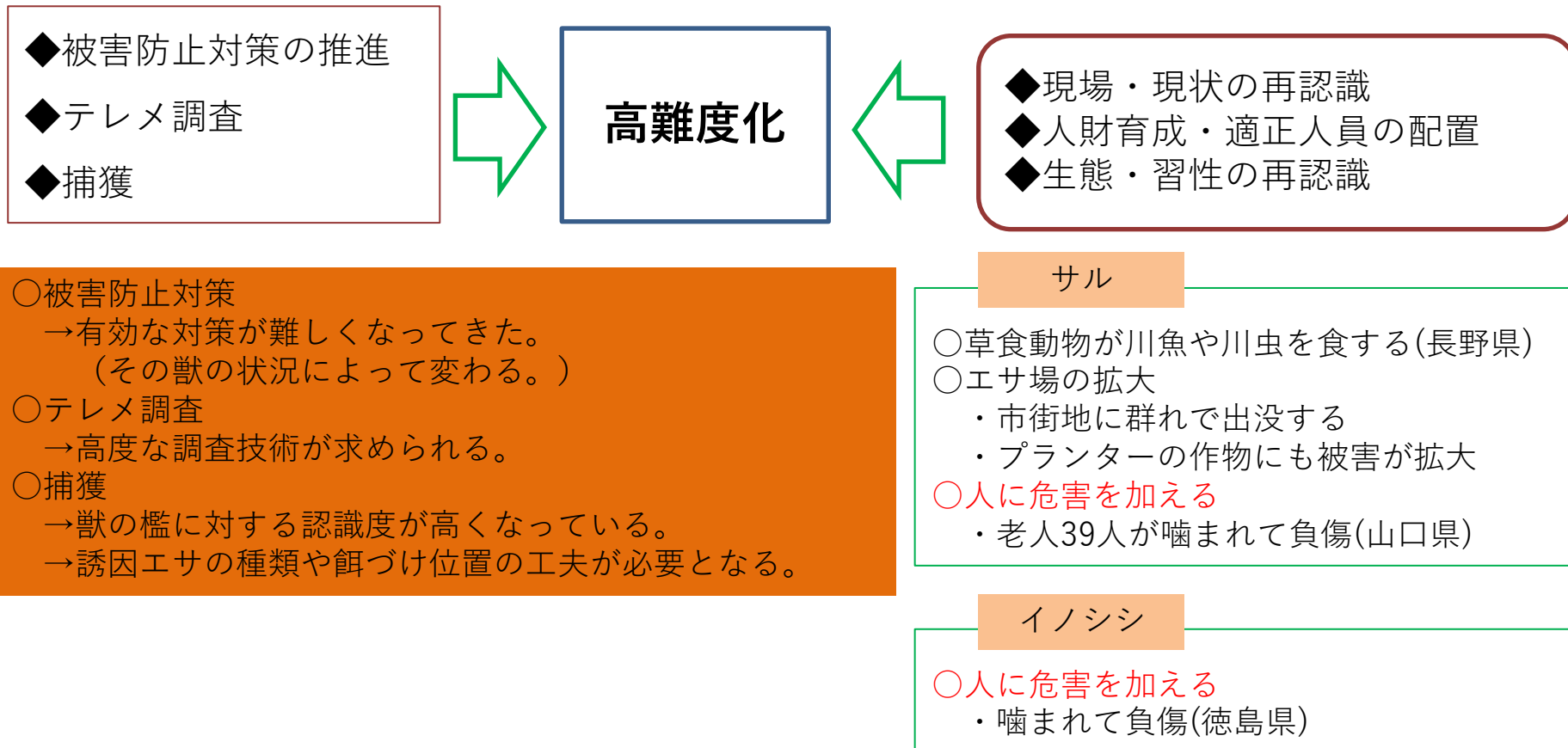
被害状況



データ提供： 多賀町

- * 活動を始めてから相対的に**減少傾向**が明確
→活動を通じて、住民の被害防止意識の高まりによる大きな成果である。
- * サルに限っては、減少傾向に見えるが調査員目線では、緩やかな**増加傾向**にあるという印象が強い。
→家庭菜園やプランター栽培までも被害がおよんでいることを無視しがたい。

活動の課題



*状態・状況の変化に対応した対策が最重要となる。
→対策や調査の方法を見直す必要性を強く感じる。

活動のポリシー

活動

- ▽状況・状態の“見える化”
 - 結果の定量化・数値化
 - 有効な対策の見極め
- ▽被害者（住人）目線での対応
 - 軸足を被害者側におく
 - 信頼性の維持と情報の収集
- ▽適正な情報の提供
 - 有効な情報の見極め
- ▽問題意識を持つ
 - 自問の励行

リンク



活動の目的

被害の防止・軽減

***物事の目的を理解することと、現状に満足しない取組み姿勢をしっかりと伝承するように努めていかなければならない。**

ご清聴、ありがとうございました。